

保護者様

なのはなガーデン

なのはなガーデンでは、静岡市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の運営に関する基準を定める条例に基づき、2023年度の自己評価と保護者評価を行いましたので下記の通りご報告いたします。

## 2023年度 自己・保護者評価報告書

### 1 なのはなガーデンの重点目標

○ 子ども像	<ul style="list-style-type: none"> <li>*自分を大切にし、仲間とともに成長する子ども（自己肯定感と他者を認める心）</li> <li>*まわりのものに深い関心を寄せ、感動できる子ども</li> <li>*じょうぶな体をもつ子ども</li> <li>*自分の発見や考えを豊かに表現できる子ども</li> </ul>
○ 保育目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>*一緒に生活する大人や子どもが好きになり、一緒に遊ぶ楽しさ、面白さを育てる</li> <li>*生活やあそびに意欲的に取り組み、体と心の主人公になる力を育てる</li> </ul>

### 2 評価項目の及び取組状況

(A=よくできた B=ふつう C=できなかった)

#### (1) 保育について

評価項目	取組状況	自己評価
① 乳児理解を深めるための視点の学習	毎日の保育の振り返りと反省、月1回の研究（会議）を全員で行い、子ども理解を深めてきた	A
② あそびの研究	子どもの興味ある物を探ると同時に「保育における環境」の大切さを学びながら、常に室内外の環境整備を行った	A
③ 実践力アップのための教材研究	スタッフ同士の研究や学習、また保育士やインターネットを中心に情報を集め、月々の保育に生かしてきた	A
④ 具体的な保育内容を考える	カリキュラムを土台にして、毎日のちょっとした時間の中で、子ども理解を深め、月案の作成の中で具体的な保育を創ってきた	A
⑤ 保育カリキュラムを見直す	年1回の法人の保育部門担当が話し合いを重ねるとともに、年1回全スタッフでカリキュラムの見直しを行い、研修会の中で、歳児別に分かれ、カリキュラムの見直しを行い、加筆、削除をし、充実を図っている	A
⑥ 保育の様子や子どもの様子を保護者に分かりやすく伝える	毎日のノート、子どもの日常をできるだけ詳しく（実名と子どものつぶやきを中心とした）記載したクラスだよりを月3回以上発行した、また保育参加、交流会、お迎え時に子どもの様子、保育について丁寧に伝えてきた	A

#### (2) 運営

評価項目	取組状況	自己評価
① 教職員体制の改善、向上	正規・パート、職種に関係なく「子ども最善の利益」を求める大人集団を創る努力をしている	A
② 保育環境の改善、向上	毎日の保育の反省・点検をふまえ、環境整備に努めている	A

2023年度 なのはなガーデンに関するアンケートの報告

実施した標記のアンケート結果について下記のようにご報告いたします。今後の保育活動の参考とさせていただきます。ご協力ありがとうございました。

< 配布枚数17 回収枚数16 回収率94% >

	はい	どちらでもない	いいえ
ア お子さんは保育園に通うのを楽しみにしていますか	16人(100%)	0人(0%)	0人(0%)
イ お子さんが「成長したなあ」と感じることはありますか	16人(100%)	0人(0%)	0人(0%)
ウ お子さんは基本的な生活習慣が身に付いたと思いますか	16人(100%)	0人(0%)	0人(0%)
エ 保育園や職員に子育ての悩みや疑問を相談しやすいですか	14人(88%)	2人(12%)	0人(0%)
オ 連絡帳、おたより、懇談会、相談などを通して保育やお子さんの園生活は分かりやすいですか	16人(100%)	0人(0%)	0人(0%)

3 今後取り組むべき課題

アについて	子ども1人1人の状況をつかみ、引き続き子どもが毎日楽しいと思う保育を創っていくよう、カリキュラムの見直しや家庭との連絡を密にしていきたい。
イ、ウ、エ、オについて	親との信頼関係をより深め、子育てのパートナーとして、悩みや疑問を相談しやすい体制作りを心がけていく

子どもを取り巻く状況が厳しくなる中、親も子育てを通して親になる喜びを感じる事が難しい時代となっています。園では、子どもと親の理解を深め、より専門的な保育の知識や方法が必要となっています。親理解・親支援があって子どもの育つ環境が豊かになることを考え、来年度も、この10年なのはなガーデンで大切にしてきた実践の中核を確認し「実践を科学する」視点で理論と実践を深め、保育の質を高めていきます。